

インフルエンザHAワクチン予防接種予診票

回答欄にはどちらかに○印をつけてください。小児の場合は保護者の方が記入してください。				診察前の体温 度 分	
住所		TEL () -			
フリガナ		男・女		生年月日	
受ける人の氏名		年 月 日		(歳 日 月 日)	
(保護者の氏名)					
質問事項			回答欄		医師記入欄
1. 今日受ける予防接種について説明文(次項)を読んで理解しましたか。			いいえ	はい	
2. 今日、普段と違って具合の悪いところがありますか。			はい 具体的に ()	いいえ	
3. 現在、何かの病気で医師にかかっていますか。 その病気の主治医には、今日の予防接種を受けてもよいと言われましたか。			はい 病名 () はい いいえ 特に尋ねていない	いいえ	
4. 最近1ヵ月以内に病気にかかりましたか。			はい 病名 ()	いいえ	
5. 特別な病気(先天性異常・心臓・腎臓・肝臓・脳神経の病気、免疫不全症、血液疾患、その他)にかかったことがありますか。			はい 病名 ()	いいえ	
6. 薬や食品(特に鶏卵・鶏肉、その他の鶏由来のもの)で皮膚に発疹や蕁麻疹が出たり、体の具合が悪くなったことがありますか。			はい 薬名・食品名 ()	いいえ	
7. けいれんを起こしたことがありますか。			はい	いいえ	
8. 今までに間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系疾患と診断されたことはありますか。			はい	いいえ	
9. 今日受けるインフルエンザ予防接種は、今シーズン1回目ですか。			いいえ 前回接種 (月 日)	はい	
10. インフルエンザ予防接種の際に具合が悪くなったことはありますか。			はい	いいえ	
11. インフルエンザ以外の予防接種の際に具合が悪くなったことがありますか。			はい 予防接種名 ()	いいえ	
12. 4週間以内に生ワクチンの予防接種を受けましたか。 又は1週間以内に不活化ワクチンの予防接種を受けましたか。			はい 予防接種名 ()	いいえ	
13. 近親者に先天性免疫不全症の方がいますか。			はい	いいえ	
14. 1ヵ月以内に近親者や周囲で麻しん(はしか)、風しん、水痘(みずぼうそう)、おたふくかぜなどにかかった方はいますか。			はい 病名 ()	いいえ	
15. 【女性の方に】現在妊娠していますか。			はい	いいえ	
16. 【接種を受けられる方が子どもさんの場合】 分娩時、出生時、乳幼児健診などで異常がありましたか。 出生体重 () g			はい 具体的に ()	いいえ	
17. その他、健康状態のことで医師に伝えておきたいことや質問があれば、具体的にご記入ください。					
医師記入欄					
以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は (実施できる ・ 見合わせた方がよい) と判断します。 本人又は、保護者に対して、予防接種の効果、副反応及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済について説明しました。 医師の署名又は記名押印					
本人(保護者)記入欄					
医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や副反応などについて理解した上で接種することに (同意します ・ 同意しません) 。					
署名 (代筆者の場合：続柄)					
使用ワクチン名	用法・用量	実施場所・医師名・接種日時			
Lot No. :	皮下接種 <input type="checkbox"/> 0.5mL (3歳以上) <input type="checkbox"/> 0.25mL (6ヵ月以上3歳未満)				

インフルエンザHAワクチンの接種について(任意接種用)

インフルエンザHAワクチンの接種にあたって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、予診票にできるだけ詳しくご記入ください。

ワクチンの効果と副反応

ワクチンにより、インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くすることができます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。

一方、副反応は一般的に軽微です。注射部位が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱を持つ、痛くなる、しびれることがあります。通常は2～3日で焼失します。発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛なども起こることがありますが、通常は2～3日で消失します。過敏症として、発疹、蕁麻疹、湿疹、紅斑、多形紅斑、かゆみなどもまれに起こります。強い卵アレルギーのある方は、強い副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出てください。

非常にまれですが、次のような副反応が起こることがあります。(1)ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等)、(2)急性散在性脳脊髄炎(ADEM)(通常、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、痙攣、運動障害、意識障害等)、(3)脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎、(4)ギラン・バレー症候群、(5)痙攣(熱性痙攣を含む)、(6)肝機能障害、黄疸、(7)喘息発作、(8)血小板減少、血小板減少性紫斑病、(9)血管炎(IgA血管炎、好酸球性多発血管炎肉芽腫症、白血球破碎性血管炎等)、(10)間質性肺炎、(11)皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、急性汎発性発疹性膿疱症、(12)ネフローゼ症候群。(1)から(12)のような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出てください。なお健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人または近親者が、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

予防接種を受けることができない人

1. 明らかに発熱のある人(37.5℃を超える人)
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3. 過去にインフルエンザワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーをおこしたことがある人
なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いでください。
4. その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した人

予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
2. 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている人
3. カゼなどのひきはじめと思われる人
4. 予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、蕁麻疹などのアレルギーを疑う異常がみられた人
5. 薬の投与または食事(鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発疹がでたり、体に異常をきたしたことがある人
6. 今までに痙攣を起こしたことがある人
7. 過去に本人や近親者で検査によって免疫状態の異常を指摘されたことがある人
8. 妊娠の可能性のある人
9. 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患のある人

予防接種を受けた後の注意

1. インフルエンザワクチンを受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医療機関にいるなどして、様子を観察し、医師とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。
2. インフルエンザワクチン接種後、1週間は副反応の出現に注意しましょう。
3. 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
4. 接種当日は、接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
5. 万一、高熱や痙攣等の異常な症状がでた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。